

誤った使用方法で事故が多発しています

事例

カセットボンベが爆発して15人がやけどを負った。(平成20年9月 東京都)



原因

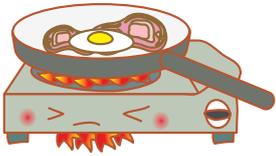
カセットコンロを2台並べ、その上に鉄板を置いて使用したため、バーナーの火で加熱された鉄板の熱によりカセットボンベが破裂したものです

事例

カセットボンベが爆発して2人がやけどを負った。(平成21年11月 福井県)

原因

五徳を収納したまま使用したため、コンロとフライパン底が接触状態となり過熱され、炎が本体内部に入り込んでボンベが破裂したものです。

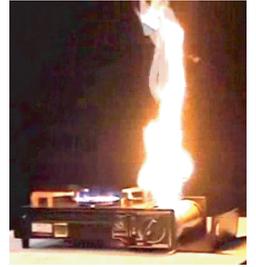


事例

使用中のカセットコンロから「ヒューヒュー」と音がして、カセットボンベのあたりから炎が出た。(平成21年6月 広島県)

原因

カセットボンベを正しく装着しなかったため、漏れたガスにコンロの火が引火したものです。



カセットボンベを正しく装着しなかったため、漏れたガスに引火しました。(再現実験)



カセットコンロは2台並べて使用しないでください。また、コンロを覆うような大きな鉄板や鍋などは使用しないでください。

カセットボンベや五徳は、正しく装着してください。

発電機

事例

地下の工事現場で3人の作業員が死亡した。(平成20年1月 福岡県)

原因

換気の悪い場所で発電機を使用したため、一酸化炭素中毒になったものです。

七輪

事例

キャンプ場のバンガローで3人が一酸化炭素中毒になって、2人が死亡した。(平成20年11月 山梨県)

原因

狭いバンガロー内で換気を十分に行わず七輪を使用したため、一酸化炭素中毒になったものです。



ガソリンコンロ

事例

テント内で人が死亡していた。(平成20年2月 北海道)

原因

屋外専用のガソリンコンロを閉め切ったテント内で使用したため、一酸化炭素中毒になったものです。

一酸化炭素中毒防止のため必ず換気をしてください

練炭コンロ

事例

建設中の防火水槽内で4人が一酸化炭素中毒になって、2人が死亡した。(平成20年2月 群馬県)

原因

作業用に練炭コンロを持ち込んだため、一酸化炭素が充満して一酸化炭素中毒になったものです。

石油ストーブ

事例

寝室で人が死亡していた。(平成21年12月 福井県)

原因

気密性の高い寝室で石油ストーブをつけたままだったため、酸素不足で不完全燃焼を起こして一酸化炭素中毒になったものです。



ものが燃えるにはたくさんの新鮮な空気が必要です。そのため、換気をしないと新鮮な空気が不足して不完全燃焼が起きて一酸化炭素が発生し、一酸化炭素中毒になります。一酸化炭素は、無色・無臭のために気がつきにくく中毒になると死亡することもあります。



このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。

